

地域リハビリ支援報告書

支援対象者) ○○ ○○様

相談支援事業者) ○○相談支援事業所 (○○ ○○様)

支援日時) 令和○年○月○日 ○時○分から○時○分

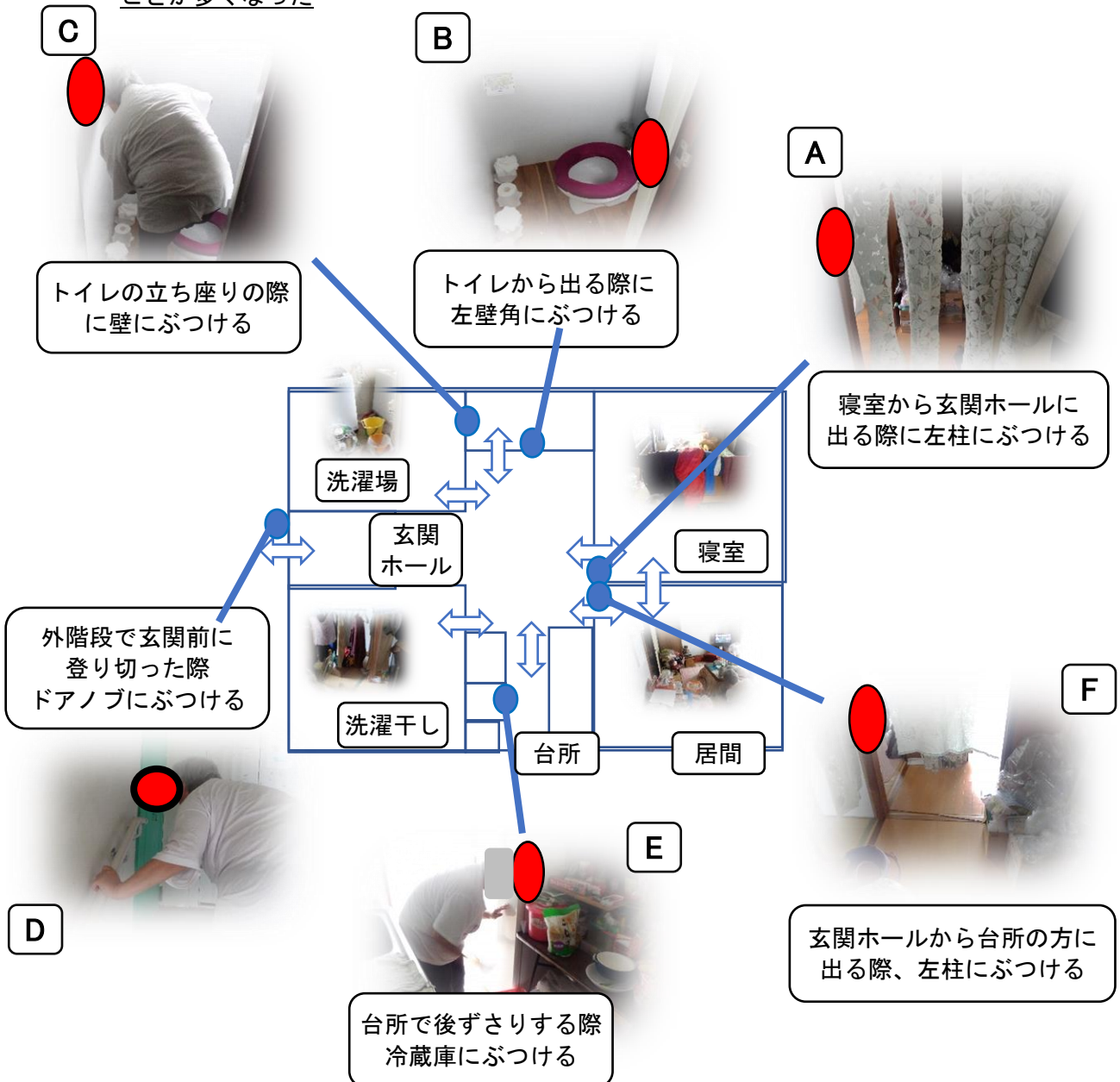
支援目的) 1. 自宅でよく頭をぶつけるという報告が多い→ぶつける箇所の確認と対策の検討
2. 日常生活活動の評価と必要な支援の検討

支援者) 地域リハビリ推進室・デイサービスセンターつながる 木原

支援内容)

1. 自宅でのぶつける箇所の確認と対策の検討

現状) 体幹の左傾き(左側弯)が大きくなっているため、以前に比べ下記6カ所で頭部をぶつけることが多くなった



対策) 実施しやすい順に

①頭部をぶつける箇所にクッション材を張る
または保護帽をかぶる

②ぶつける箇所のエリアに右手を付くマークをつける (左側に偏らないように)

例)



③ぶつける箇所のエリアに右支持 (または両支持) の置き手すりを置く (左側に偏らないように)

例)



④側弯矯正手術を行う

〇〇整形外科の医師より、〇〇病院または△△病院での手術を薦められている
※手術実施の有無に限らず、デイリハビリにて側弯矯正プログラムを継続する

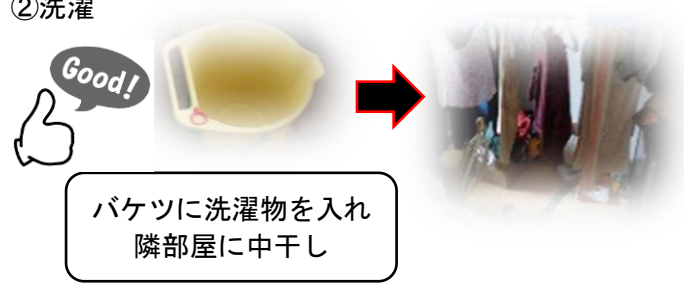
2. 日常生活活動の評価と必要な支援の検討

● “食器洗浄” と “洗濯” は自分で実施している

①食器洗浄



②洗濯



● “掃除”、“調理”、“買物” はヘルパー実施だが、介入時間がなく “掃除” はほとんど手が
つけられていない

課題) 動線上に多くの物が置いてあり、転倒リスクが高く、また物を避けるために左側に
寄らざるいけない場所もあり、“掃除” にヘルパーが入れる日数増または時間増が必要



特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
地域リハビリ推進室 室長
デイサービスセンターつながる センター長
木原秀樹 (理学療法士)